

**地方公共団体等における
火山防災訓練の企画・運営ガイド
(付録（様式）：様式・ひな形集)**

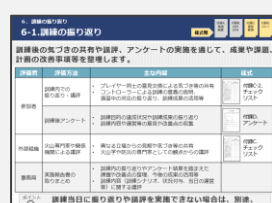
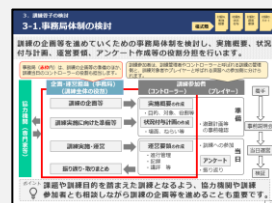
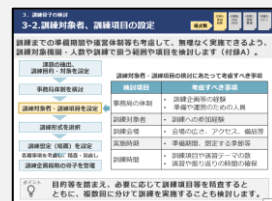
令和7年5月
内閣府（防災担当）

様式①：様式・ひな形集

様式・ひな形集の構成

様式・ひな形集とは、訓練の事前説明や訓練当日用として準備する資料の検討・作成を補助するための、ガイドの付録資料です。付録A～Dを検討・準備することで、初心者においても最低限の図上演習を開催することが可能です。

企画・運営ガイド



地方公共団体等における
火山防災訓練の企画・運営ガイド（第3版）

令和7年5月
内閣府（防災担当）

企画

当日

検証

様式・ひな形集

付録A. 実施概要

説明資料



作成手順書



実施概要
ひな形



付録B. 状況付与計画・付与票

説明資料



状況付与
計画様式



状況付与
票様式



付録C. 管理者・コントローラー運営要領

説明資料



運営要領
ひな形



チェック
リスト
ひな形



付録D. アンケート

説明資料



アンケート
調査票



訓練シナリオ及び状況付与票の様式について

本資料は、訓練資料及び状況付与票の様式を通じて、訓練の流れをイメージできるよう、令和4年度に山梨県が主催した火山防災訓練※において、実際に使用した訓練資料及び状況付与票の様式を掲載したものです。

※内閣府のモデル事業として、山梨県と共同で図上演習の企画等を実施

■令和4年度 富士山火山防災訓練（山梨県）の概要

- 実施日時：令和4年10月18日（火）13時00分～17時00分
- 実施形態：県防災新館、富士吉田合同庁舎、各市町村庁舎（Webで各会場を接続）
- 主な訓練参加機関：山梨県、県内市町村、防災関係機関（Web参加）
- 訓練の形式：前提条件や進行管理者が付与した状況に応じ、参加者が、対策の検討・意思決定・連絡調整等の対処を行うロールプレイング形式の図上演習
- 訓練の想定（火山活動の状況や必要となる対応）：
（前提条件）火山活動の変化を受け、火山の状況に関する解説情報等が発表される
（フェーズ1）令和4年10月9日（日）噴火警戒レベル3に引き上げ
（フェーズ2）令和4年10月10日（月）噴火警戒レベル4に引き上げ



【訓練実施中の様子】

様式① 訓練シナリオ（状況付与計画）

記載項目：区分、時間、付与先・付与元、付与方法、付与内容、ねらい、想定される対応 等

区分	時間	フェーズ	付与方法	付与内容	付与のねらい
指示	13:33	レベル3	紙	市町村の初動体制について情報収集をすること	情報班が班マニュアルや様式を用いて自主的に実施できるか。
問合せ	15:40	レベル4	電話	外部からの応援機関の連絡。国外の火山研究社3名が県の本部に入りたい。	対応窓口の確認、受け入れ先の調整、手配

様式② 状況付与票

記載項目：状況付与計画に記載の事項
使用方法：記載内容に基づき、訓練参加者（プレイヤー）が対応を検討、情報伝達等の対応をとる。

現在時刻 ：13:33 発信元 ：統括班長 → 発信先 ：情報班 内容 ：市町村初動体制の把握	情報班 噴火警戒レベル3 3
【指示】 市町村の初動体制について情報収集をすること。 ・市町村本部設置状況 ・市町村体制（職員・幹部参集）状況 ・庁舎設備作動状況（連絡手段確認） ・避難状況	訓練のための補足情報 ・班マニュアルや様式の活用 ・ホワイトボード等への整理 ・本部内への共有 自由メモ欄 (200文字以内) 市町村本部設置状況について、市町村本部に連絡がとれず、状況不明である。今後、市町村本部に連絡をとり、状況を確認する。
	統括班 噴火警戒レベル3 31 訓練のための補足情報 ・対応窓口の確認 ・受け入れ先の調整、手配 ・火山専門家（現地対策本部）に相談してもよい 自由メモ欄 (200文字以内) 市町村本部設置状況について、市町村本部に連絡がとれず、状況不明である。今後、市町村本部に連絡をとり、状況を確認する。

**様式②：富士山火山防災訓練における
訓練シナリオ（状況付与計画）**

フェーズ1：噴火警戒レベル3に引き上げ（13:30～）

状況付与計画（R4富士山図上訓練）

進行管理者用
（配布なし）

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 （実時間）	フェーズ	付与先	付与元 （コントローラー）	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい（参考）	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 （訓練のための補足情報）
1	指示	13:30	レベル3	通信班	気象台	紙	気象庁電文の転送	噴火警戒レベル3の情報について、412会議室のFAXにより訓練参加市町村に転送すること。	火山電文は統制室にあるシステムにより自動転送されるものであるが、臨機に情報発信が行えるよう412会議室のFAXの操作に慣れる。	・訓練開始前に電文原稿と送付先を渡しておく。	・訓練中のFAX受信状況も通信班で確認する（実災害も同様）。
2	指示	13:33	レベル3	統括班長	統括部長	紙	各班の対応方針確認	「統括班長（防災危機管理課長）から、参集している各班長に就き対応方針の確認、各班の対応を確認すること」	対応開始直後、統括部の活動のコントロールを担う立場の統括班長は、参集している各班長に就き対応方針を確認し、状況により指示を行う。	※開始直後に班長を集めての方針伝達がないようであれば、統括班長に直接付与 ■関連付与【5番】：通信班に対しては、富士吉田合同庁舎のカメラ画像を412に映すよう指示。 ■関連付与【6番】【41番】：広報班に対しては、富士山の活動状況を広報するWEBページ開設と、市町村WEBページからもリンクしてもらえるよう指示。	
3	指示	13:33	レベル3	情報班	統括班長	紙	市町村初動体制の把握	市町村の初動体制について情報収集をすること。 ・市町村本部設置状況 ・市町村体制（職員・幹部参集）状況 ・庁舎設備作動状況（連絡手段確認） ・避難状況	・情報班が班マニュアルや様式を用いて自主的に実施できるか。 ・統括班長や統括部長から、情報収集に関する指示が出せるか。	・訓練開始直後に統括班長が班長を集めるなど、方針指示を出す場合は付与を保留。 ・情報班の動き出しを確認し、状況により付与。	・班マニュアルや様式の活用 ・ホワイトボード等への整理 ・本部内への共有
4	照会	13:35	レベル3	統括班長	統括部長	紙	現地対策本部の開設状況	現地対策本部の体制の確認。場所、幹部職員、必要な資機材の確保状況はどのようになっているか。	解説情報（臨時）の段階で、富士吉田合同庁舎からの移転を開始。 派遣人員（班編制）、指揮者の確認を行う。	・現地対策本部の開設人員の選定（所属、氏名まで決めてもらいたい） ・持ち込む資機材の確認（通信班にも確認） ・富士・東部地域県民センター（地方連絡本部）の職員も選定できるか。 ・開設職員＝現地従事職員になることを想定する。	・派遣人員（班編制）、指揮者の選定 ・富士吉田合同庁舎（火山防災対策室）の動き出しタイミング等の確認
5	指示	13:35	レベル3	通信班	統括部長	紙	屋上カメラの設定	・富士吉田合同庁舎の屋上カメラで山体を映し、412会議室のモニターに流すこと。	統制室における操作手順、通信の仕組みを理解すること。※実動で実施	■【2番】に関連付与■ ※統括班長や通信班長から自発的な動きがないようであれば付与	・統制室の操作により実動で実施（平和通り側のモニターに映写）。 ・設営後、全体に共有。

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
6	指示	13:35	レベル3	広報班	統括副部長	紙	報道対応の方針整理	・報道に対してはどの情報、どのタイミングで発信するのか、報道対応の方針について整理すること。 ・併せて、今後、知事メッセージを発出する段階、タイミングについても検討すること。 ・整理した方針については、統括副部長(防災局次長)に報告し、了解を得ること。		■【2番】に関連付与■	・報道対応方針の整理、責任者(広報統括を担う統括副部長)への確認 ・方針確認後は、報道発表用の情報を入手しながら、リリース準備を整えること。
7	指示	13:35	レベル3	県民相談班	統括班長	紙	災害時県民相談センターの設置	・県民からの問合せに対応するため、「災害時県民相談センター」を設置すること。	・NHK等、報道への投げ込みをどうするか。 ・今後の問合せに対応するため、班内の役割をどうするか。 ・ニュースで表示されたあと、問合せが殺到することに注意。	・対策を実施する班や、市町村の手を煩わせないよう、できるだけ、県民相談班で止めることが重要。	・設置情報について、NHK等、報道へ投げ込みを行う手順の確認(窓口名、電話番号、どのような情報を受け付けるか。広報班と相談)。 ・今後殺到が予想される問合せへの対応方針、班内での役割調整。
8	課題	13:35	レベル3	県警	(運営からの課題)	紙	検討課題の例	・避難車両、防災応急対策車両の通行のための必要な措置の実施。 ・県、避難実施市町村と連携し、登山口等での入山規制 ・上空偵察(消防ヘリと調整) ・渋滞箇所等の交通誘導 ・警戒区域設定前の流入抑制(呼びかけ等)			・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ
9	課題	13:35	レベル3	自衛隊	(運営からの課題)	紙	検討課題の例	・入山規制時の下山者に対する呼びかけの要請対応(ヘリの手配は可能か)。 ・病院や消防本部からの避難車両手配の要請対応。			・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ
10	照会	13:40	レベル3	統括班	知事	紙	知事からの問合せ①	秘書課(知事)から、噴火活動の状況と県の体制について報告の求めあり。	・災害対策本部体制の設置時期の確認。 ・統括部長と統括班長の意思決定の確認。	■付与【10番】【16番】は知事問合せ■ ・当該付与は統括班員の誰かに手渡しでよい。	・現時点の噴火活動と、警戒本部体制を回答。 ・その他、今後の推移と、知事参集となるタイミングを伝達。 ※コントローラーに回答してください(電話またはメモ提出)。

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
11	指示	13:40	レベル3	情報班	市町村	電話	5合目残留者への広報	・富士吉田市です。5合目以上には、山小屋関係者等がいるため、入山している人への呼びかけを行いたい。 ・広報をお願いできないか。誰がどのように広報するか県本部で検討してもらいたい。	・情報班から航空調整班に要請が伝達されること。 ・県警ヘリや自衛隊ヘリとの調整を行い、運航を検討すること。	・情報班が、広報班あるいは統括班に伝達。この時期は世界遺産富士山課も5合目に不在。ヘリを手段として検討できるか。 ■類似要請あり。【11番】市町村→情報班、【33番】市町村→航空調整班、【39番】市町村→県警■	・要請を受けたのは情報班であるが、内容は対策を実施する班に、正確に伝達すること。
12	問合せ	13:40	レベル3	医療班	DMAT	紙	保健医療救護対策本部の設置	県立中央病院です。県保健医療救護対策本部の体制はどのようになりますか。リエゾンを派遣したいが、本館5階に行けばいいですか。	DMATとの調整。	■付与【12番】と【35番】で病院避難支援の対応検討、【55番】市立病院→富士五湖消防へ患者搬送要請■【23番】に他県DMAT受入れ■	・県災害警戒本部段階におけるDMATとの調整。 ・福祉保健部の体制はどうか、この時点でDMAT対応は可能か。
13	依頼	13:40	レベル3	土木班	統括班長	紙	県管理道路の対応の周知	・レベル3発表に伴い、入山規制の対応となる。 ・県管理道路(スバルラインを含む)の通行規制状況等の対応状況について、全体に周知いただきたい。 ・市町村に確認が必要な事項があれば、統括班を通して確認されたい。			・対応が必要となることが想定される道路について、統括班に共有すること。 ・市町村に確認が必要な事項は統括班を通して市町村に確認すること。 ・Zoomミーティングや防災システム(掲示板機能)を通じて全体に周知すること。
14	課題	13:40	レベル3	各市町村	(運営からの課題)	システム	今後想定される課題の整理	今後のレベルの引き上げや、噴火発生に備えた事前準備(避難所開設等)の実施。 (検討項目の例) ・住民広報について、内容や手段(首长メッセージ等)等の検討。 ・観光客(イベント状況把握)、別荘地、通勤者(休日稼働工場等)へ帰宅を呼びかける案内の実施検討。 ・避難行動要支援者対応(福祉避難所開設等)の準備。 ・避難所開設準備。等 ※検討項目ごとに対応記録用紙に整理。関係機関との調整が必要な場合には、訓練の中で確認すること。		※システム保存と同時にFAXも送信	・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
15	依頼	13:40	レベル3	甲府地区消防	(運営からの課題)	紙	消防機関の広域応援調整	・今後想定される広域応援体制(県外の消防本部の受入段階も含む)の検討、調整事項等の確認。			・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ
16	照会	13:45	レベル3	統括部長	知事	電話	知事からの問合せ②	「中間報告では、1次避難対象エリアは観光客も含めて避難となる。市町村は避難対応が始まるが、県は警戒本部のままで良いのか。県として必要な対応に間に合う体制が取れているのか。」 ※コントローラーに回答してください(電話またはメモ提出)。	・富士吉田市はレベル3で災害対策本部設置。 ・県として必要な対応が何で、それを実行するための体制ができていのか整理する。 ・「避難対応の開始」という指摘に対し、対策本部体制では「避難対策班」があるが、参集させるのか、現在の体制で対応するのか。	■付与【10番】【16番】は知事問合せ■	・県として必要な対応が何で、それを実行するための体制ができていのか整理(①県が行う対応のための体制、②市町村支援等の対外的対応のための体制)。 ・「避難対応の開始」という指摘に対し、対策本部体制では「避難対策班」があるが、参集させるのか、現在の体制で対応するのか
17	問合せ	13:45	レベル3	各市町村	住民	電話	住民からの問合せ	・〇〇(付与先)市町村の住民です。 ・テレビで富士山が噴火するかもしれないと言っている。 ・避難所は開設されるのか。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。 ※14:15を回答の目安とする。	・レベル3段階における住民への情報の伝え方の検討。 ・同様の問い合わせの増加に備えてどのように情報発信するか、併せて検討。 ・回答は、コントローラーに14:15までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
18	課題	13:45	レベル3	忍野村	(運営からの課題)	システム	レベル引き上げに備えた準備	・警戒レベルがさらに引き上げとなった際に、東富士五湖道路が閉鎖する可能性を考慮した県及び道路管理者との連携、連絡調整を検討。 ・大規模事業所の一斉避難による混乱の可能性を考慮した対応の検討。 ・レベル4以上への引き上げを想定した対応の準備。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、保存したことを電話で伝えること。	・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ ・対応記録用紙への記載でも可
19	依頼	13:50	レベル3	統括班	富士山研	紙	上空偵察の依頼	・富士山研から連絡あり。 「地震が多発している北側の山腹域周辺を今日か明日にヘリから上空視察したいが、ヘリの手配をお願いできないか。」	・航空調整班との上空偵察の調整。 ・他機関ヘリの動きの確認。		・航空調整班との上空偵察の調整(日時、天候、搭乗者、コース、ビジュアルアップ) ・他機関ヘリの動きの確認

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
20	指示	13:50	レベル3	情報班	統括班長	紙	市町村の情報収集①	市町村の情報を収集すること。 ・市町村の体制 ・避難情報発令状況、避難所開設情報 ・県に対する要請、要望事項の確認 また、今後の情報収集における“とりまとめ時間”の設定(何時間おきとするのか)について、統括班と調整すること。	・市町村の対応状況を共有し、そこから統括部や関係機関による市町村支援の検討に結びつけられるか。 ・防災システムを活用できるか。 ・情報収集において、追加情報の確認や担当者交代を想定して、担当者名まで記録できるか。	(随時行うものであり、付与を行わないこともある)	★★必要に応じて付与★★ ・市町村の対応状況の共有と支援検討 ・防災システムの活用 ・情報収集方法の確認 ・とりまとめ時間の設定については、被害が発生している段階ではないことに留意。
21	指示	13:50	レベル3	通信班	統括班長	紙	現地対策本部の開設状況	・現地対策本部における通信手段の確認。手配。	・現地対策本部で使用する通信手段が何か確認する。 ・資機材を誰がどのように手配するか。	※統括班長が通信班に指示しているようであれば付与不要。	・現地対策本部で使用する通信手段が何か確認する。 ・資機材を誰がどのように手配するか。
22	問合せ	13:50	レベル3	県民相談班	住民	電話	県民からの問合せ	北麓地域の住民です。「テレビで言っているレベル3ってなんですか？」	一般的な問合せへの対応		・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。 ・回答例は整理しておく。 ・会議資料や報道発表資料があれば関係班から入手し、それを基に回答する。 ・問い合わせを減らすために必要な方策も検討し、関係班に相談すること。
23	問合せ	13:50	レベル3	医療班	DMAT	紙	県外支援DMATの進出の受入準備	・中部ブロックの他県DMATです。 ・山梨県への進出準備を進めますが、進出のタイミングと、参集拠点の指示があれば教えてほしい。		■付与【12番】と【35番】で病院避難支援の対応検討、【55番】市立病院→富士五湖消防へ患者搬送要請■【23番】に他県DMAT受入れ■	・受け入れ手順の確認。 ・回答は対応記録用紙への記載とする。 ・関係機関との調整が生じる場合には訓練の中で確認すること。
24	依頼	13:50	レベル3	都留市	統括班長	電話	流入自肅の呼び掛け	・県災害警戒本部です。 ・観光客等の富士五湖方面への流入自肅の呼び掛けに協力いただきたい。 ・道の駅等の市管理施設における呼びかけは可能か。 ・広報や道路の関係で要請などある場合には、県本部に連絡いただきたい。		■付与【24番】都留市、【25番】大月市、【26番】上野原市に同様の要請あり■ ※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。	■都留市、大月市、上野原市など山麓から離れている市町村では同様の対応要請あり■ ・対応について検討し、県広報班や道路管理者等との調整、要請事項がある場合には、訓練の中で確認すること。

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
25	依頼	13:50	レベル3	大月市	統括班長	電話	流入自肅の呼び掛け	・県災害警戒本部です。 ・観光客等の富士五湖方面への流入自肅の呼び掛けに協力いただきたい。 ・道の駅等の市管理施設における呼びかけは可能か。 ・広報や道路の関係で要請などある場合には、県本部に連絡いただきたい。		■付与【24番】都留市、【25番】大月市、【26番】上野原市に同様の要請あり■ ※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。	■都留市、大月市、上野原市など山麓から離れている市町村では同様の対応要請あり■ ・対応について検討し、県広報班や道路管理者等との調整、要請事項がある場合には、訓練の中で確認すること。
26	依頼	13:50	レベル3	上野原市	統括班長	電話	流入自肅の呼び掛け	・県災害警戒本部です。 ・観光客等の富士五湖方面への流入自肅の呼び掛けに協力いただきたい。 ・道の駅等の市管理施設における呼びかけは可能か。 ・広報や道路の関係で要請などある場合には、県本部に連絡いただきたい。		■付与【24番】都留市、【25番】大月市、【26番】上野原市に同様の要請あり■ ※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。	■都留市、大月市、上野原市など山麓から離れている市町村では同様の対応要請あり■ ・対応について検討し、県広報班や道路管理者等との調整、要請事項がある場合には、訓練の中で確認すること。
27	問合せ	13:50	レベル3	山中湖村	住民	電話	別荘住民の帰宅対応	・別荘住民です。 ・富士山が噴火するかもしれないとテレビで報道しているが、別荘にとどまっても大丈夫か。 ・もし帰るとすれば、今後、通れなくなる道路はありますか。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。 ※14:30を回答の目安とする。	・今後のレベル上昇も踏まえた帰宅対応(情報の伝え方) ・回答は、コントローラーに14:30までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
28	問合せ	13:50	レベル3	富士河口湖町	業者	電話	イベント事業者との調整	・トレイルラン大会の運営者です。 ・現在継続中のトレイルランのイベントについて、中止等の要請はありますか。 ・参加者等への対応について、留意する点はありますか。		■付与【28番】富士河口湖町、【43番】山中湖村で各イベント主催者との調整あり■ ※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。 ※14:30を回答の目安とする。	・中止要請の可否判断 ・参加者に対する情報の伝え方 ・回答は、コントローラーに14:30までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
29	依頼	13:55	レベル3	統括班	内閣府	電話	政府の体制確認	・内閣府防災担当です。 ・国では、火山災害現地連絡調整室を設置します。 ・県の体制、今後の会議資料、市町村の避難所開設情報を共有、報告いただきたい。	・内閣府との連絡調整の体制確保。 ・体制が拡大した際の受援体制の確保。		・連絡調整の体制確保 ・今後に向けた受援体制の確保

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
30	依頼	13:55	レベル3	土木班	統括班長	紙	道路情報表示板を活用した広報支援	・道路利用者への広報について、広報班や市町村と連携してもらいたい。 ・道路情報表示板を活用した広報が可能か検討いただき、箇所などを整理いただきたい。			・表示内容について統括班や広報班に確認。 ・内容と表示場所について、全体に周知。
31	問合せ	14:00	レベル3	統括班	応援機関	電話	応援機関、研究者の受入	外部からの応援機関の連絡。 ・防災科学技術研究所から8名 ・国内外の火山研究者5名 県の本部に入りたい。	・対応窓口の確認 ・受け入れ先の調整、手配	■付与【31番】と【57番】応援機関の受入要請■	・対応窓口の確認 ・受け入れ先の調整、手配 ・火山専門家(現地対策本部)に相談してもよい
32	指示	14:00	レベル3	通信班	統括班長	紙	市町村との連絡体制確保	・情報班から市町村本部の体制を確認すること。 ・市町村との情報伝達手段について、確保・確認すること(防災行政無線、FAX等)		通信班が市町村に直接確認してもよい	・県本部、市町村本部、県現地対策本部の情報伝達手段の確認。 ・降灰時の影響を踏まえた通信手段の確保。 ・対応記録用紙に記載。必要に応じて各市町村と確認。
33	依頼	14:00	レベル3	航空調整班	市町村	紙	5合目以上への下山呼びかけ	・某市町村です。 ・入山規制実施となっているが、山小屋関係者など、5合目以上に滞在している人もいる。 ・下山の呼びかけを行いたい、防災ヘリで広報は可能か。 ・県警にも同様の相談をしたいと考えている。		■類似要請あり。【11番】市町村→情報班、【33番】市町村→航空調整班、【39番】市町村→県警■	・呼びかけメッセージは、統括班や関係市町村と調整する。 ・ヘリを持つ機関とも活動調整を行うこと。 ・調整、決定事項は、全体に周知を行い、対応記録用紙に記載。
34	問合せ	14:00	レベル3	県民相談班	住民	電話	県民からの問合せ	西桂町の住民です。民放で、火山専門家の大学教授が、富士山の大規模噴火の可能性に言及している。どうしたらよいのか。	・市町村への問合せや、統括班等への負担を減らすため県民相談班で完結させること。 ・情報班に共有し、対応に役立てる。 ・広報班に共有し、県HPに掲載するなど、問合せを減らすための工夫につなげる。 ・市町村の避難情報に注意すること。 ・西桂であれば早くても溶岩流到達は6時間であることなど。	※その場で回答できない場合は折り返しの回答でも可。	・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。 ・回答例は整理しておく。 ・応対記録をシステムのクロノロジーに登録することで、全体への共有に有効。 ・デマ情報の拡散防止にも留意(広報班にも情報共有し、対応を検討)。 ・山麓以外の市町村であれば溶岩流到達には時間的な余裕があることにも留意(ハザードマップ確認)

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
35	指示	14:00	レベル3	医療班	統括班長	紙	病院避難支援	・病院避難支援(富士吉田市立病院)の対応について確認されたい。 ・車両による患者搬送支援が生じるのか、車両の手配はどうするのか。 ・航空搬送のためSCUを設置するのか。防災ヘリへの依頼の可能性はあるか。	レベル4に備えた体制の確保	■付与【12番】と【35番】で病院避難支援の対応検討、【55番】市立病院→富士五湖消防へ患者搬送要請■	・レベル4に備えた体制の確保。 ・富士吉田市や富士五湖消防本部等の関係機関に確認して検討すること。 ・検討結果は全体に共有すること。 ・対応記録にも記載すること。
36	問合せ	14:00	レベル3	富士吉田市	住民	電話	住民からの問合せ	・市内居住者です。 ・入山規制が行われると聞いたが、わかりにくいので、案内板等の措置をお願いしたい。 ・勝手に入っていく人の対応はできているのか。 ・設置されているのであれば、場所を教えてください。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※その場で回答せず、関係機関と調整後に対応記録に記載すること。	・入山規制の実施内容について、具体的(場所、時間、方法、実施者等)に検討すること。 ・関係者に要請する必要がある場合には、訓練の中で確認すること。 ・住民等に対する情報の伝達方法の検討。 ・規制箇所の制限方法、実施者の検討(侵入者の抑止)。 ・回答は、コントローラーに14:40までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
37	問合せ	14:00	レベル3	鳴沢村	住民	電話	住民からの問合せ	・村内居住者です。 ・入山規制が行われると聞いたが、わかりにくいので、案内板等の措置をお願いしたい。 ・勝手に入っていく人の対応はできているのか。 ・設置されているのであれば、場所を教えてください。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※その場で回答せず、関係機関と調整後に対応記録に記載すること。	・入山規制の実施内容について、具体的(場所、時間、方法、実施者等)に検討すること。 ・関係者に要請する必要がある場合には、訓練の中で確認すること。 ・住民等に対する情報の伝達方法の検討。 ・規制箇所の制限方法、実施者の検討(侵入者の抑止)。 ・回答は、コントローラーに14:40までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
38	問合せ	14:00	レベル3	富士河口湖町	住民	電話	住民からの問合せ	・町内居住者です。 ・入山規制が行われると聞いたが、わかりにくいので、案内板等の措置をお願いしたい。 ・勝手に入っていく人の対応はできているのか。 ・設置されているのであれば、場所を教えてください。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※その場で回答せず、関係機関と調整後に対応記録に記載すること。	・入山規制の実施内容について、具体的(場所、時間、方法、実施者等)に検討すること。 ・関係者に要請する必要がある場合には、訓練の中で確認すること。 ・住民等に対する情報の伝達方法の検討。 ・規制箇所の制限方法、実施者の検討(侵入者の抑止)。 ・回答は、コントローラーに14:40までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
39	依頼	14:00	レベル3	県警	市町村	紙	5合目以上への下山呼びかけ	・某市町村です。 ・入山規制実施となっているが、山小屋関係者など、5合目以上に滞在している人もいる。 ・下山の呼びかけを行いたい、県警へリで広報は可能か。 ・航空隊にも同様の相談をしたいと考えている。		■類似要請あり。【11番】市町村→情報班、【33番】市町村→航空調整班、【39番】市町村→県警■	・呼びかけメッセージは、統括班や関係市町村と調整する。 ・ヘリを持つ機関とも活動調整を行うこと。 ・調整、決定事項は、全体に周知を行い、対応記録用紙に記載。
40	照会	14:05	レベル3	統括班	議員秘書	紙	国会議員からの問合せ	国会議員Aの秘書から、噴火活動の状況と県の体制について報告の求めあり。	・どのような情報をどのタイミングで誰が出すのか ・現段階では涉外対応班は不在。 ・会議後に公表資料を出すことで、負担を軽減。		・現時点の内容でコントローラーに回答(電話またはメモ提出)。 ・今後の同様の問いに備え、議員用に提供する内容の整理、タイミングについても検討すること。
41	依頼	14:10	レベル3	広報班	市町村	紙	県HPによる広報	某市町村です。 ・富士山の活動状況を広報するWEBページについて、県で開設してもらえるのか。 ・このページのリンクは、市町村HPに貼り付けるなどして、住民等に広報したい。	正式な情報を公表するページの閲覧を促すための方策を検討。	■付与【2番】に関連付与■	・検討結果は市町村(全体)に周知すること。 ・県公式HPだけでなく、その他の手段についても検討し、関係班と調整すること。
42	問合せ	14:10	レベル3	県民相談班	住民	電話	県民からの問合せ	北麓地域の住民です。「すぐに噴火するんですか」	・一般的な問合せへの対応		・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。 ・回答例は整理しておく。 ・会議資料や報道発表資料があれば関係班から入手し、それを基に回答する。 ・問い合わせを減らすために必要な方策も検討し、関係班に相談すること。

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
43	問合せ	14:15	レベル3	山中湖村	業者	電話	イベント事業者との調整	・きららの音楽イベントの主催者です。 ・富士山の噴火に関する情報が出たと聞きました。 ・中止の要請はありますか。 ・参加者、関係者への情報提供等で留意点等はありませんか。		■付与【28番】富士河口湖町、【43番】山中湖村で各イベント主催者との調整あり■ ※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。 ※14:50を回答の目安とする。	・中止要請の可否判断 ・参加者に対する情報の伝え方 ・回答は、コントローラーに14:50までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
44	問合せ	14:20	レベル3	県民相談班	住民	電話	県民からの問合せ	北麓地域の住民です。「山頂から噴火して北麓全域に影響があるんですか？」	・一般的な問合せへの対応 ・デマ情報の拡散。⇒広報班に共有して公式情報を拡散させるなど対処(協議会、国、県の相互リンク等)	※その場で回答できない場合は折り返しの回答でも可。	・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。 ・回答例は整理しておく。 ・デマ情報の拡散防止にも留意(広報班にも情報共有し、対応を検討)。 ・問い合わせを減らすために必要な方策も検討し、関係班に相談すること。
45	問合せ	14:20	レベル3	富士河口湖町	住民	電話	酪農家からの問合せ	・富士ヶ嶺地区(第1次避難対象エリア)の酪農家です。 ・慌てて避難してしまったが、牛の様子を確認したい。 ・どこに許可を取ればよいのか。 ・すぐ近くだし、1時間で戻ってこれると思うので、見に行ってきた方が良い。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。 ※14:50を回答の目安とする。	・一時的な立ち入りの可否判断 ・今後予想される類いの問い合わせに対する情報の伝え方 ・家畜避難に関する調整先の確認。 ・必ずしも明確な回答は求めない。今後の検討のためのヒントとする。 ・回答は、コントローラーに14:50までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
46	指示	14:30	レベル3	広報班	統括副部長	紙	報道機関等の統制	・レベル3の発表、今後の火山活動の高まりから、海外を含めたメディアの殺到が予想される。 ・報道対応、統制について、検討されたい。			・世界的な知名度もあり、国内外からの多数メディアの殺到が予想される。 ・現地の統制、情報発信をどのように行うか(派遣人員、対応場所等)検討する。

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
47	問合せ	14:30	レベル3	医療班	市町村	紙	福祉施設避難支援	・某市町村です(回答はコントローラーへ)。 ・管内の福祉施設の利用者の搬送支援は可能ですか。			・避難行動要支援者対策として支援可能な対応の確認。 ・回答はコントローラーへ行う。 ・対応可能なことがある場合、回答後、訓練の中で市町村全体に周知する(条件、タイミング等)こと。 ・実施できない場合も、全体共有すること。
48	問合せ	14:45	レベル3	医療班	市町村	紙	在宅要支援者避難支援	・某市町村です(回答はコントローラーへ)。 ・管内の在宅の避難行動要支援者に対する支援はありますか。			・避難行動要支援者対策として支援可能な対応の確認。 ・回答はコントローラーへ行う。 ・対応可能なことがある場合、回答後、訓練の中で市町村全体に周知する(条件、タイミング等)こと。 ・実施できない場合も、全体共有すること。

フェーズ2：噴火警戒レベル4に引き上げ（15:20～）

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
49	指示	15:23	レベル4	広報班	統括副部長	紙	知事メッセージの発信	- 対策本部設置に伴い、知事メッセージの発信を検討したい。 - 内容、発信手段の検討も行うこと。	- 統括班との内容調整。 - 発信手段等の確認。 - また、内容については、県HP、ツイッター、防災ポータル、Lアラート(お知らせ)でも発信できるよう手順等を確認すること。		- 統括班との内容調整 - 発信手段や手順等の確認
50	依頼	15:25	レベル4	統括班	内閣府	電話	政府の体制確認と受援体制の確立	内閣府防災担当です。 - 国では、火山災害現地警戒本部の設置に移行します。 - 県の体制、会議資料、市町村の避難所開設情報を共有、報告いただきたい。 - また、「合同会議」の場も必要になるため、設置について検討してもらいたい。	- 受入場所の調整、確保(規模の確認) - 対応窓口の確認	【回答メモ】 - 政府現対は約30名。 - その他、総務省広域応援、知事会応援も20～30名想定。 ※その他の機関(参考) - 関係者に直接確認いただきたいが... - 消防応援活動調整本部、自衛隊(防衛省)、国交省等道路関係、気象庁支援チームが想定される。一プレイヤーに投げかけてもよい 「火山災害警戒合同会議」 国、関係自治体、火山専門家等 - 現地警戒本部設置場所に設置 - 以下の応急対策を調整し、合意形成に努める。 ①噴火兆候等の情報収集、分析 ②噴火活動の見通し ③避難行動必要時期、範囲 ④避難手段の確保 ⑤情報発信に関する事項	- 受入場所の調整、確保(規模の確認) - 対応窓口の確認 「合同会議」設置について、関係機関調整、開催場所等を検討。
51	問合せ	15:25	レベル4	医療班	(運営からの課題)	紙	保健医療救護対策本部の設置、体制確認	- 保健医療救護対策本部運営(搬送調整、拠点本部となる保健所の対応)、県災害対策本部との連絡調整について確認すること。 - 活動拠点の設置状況、EMIS入力等による情報通信手段について確認すること。			実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なことなどを「気づき」としてメモ

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
52	依頼	15:30	レベル4	統括班	市町村	紙	降灰による域 外避難の打診	・某市町村です(回答は進行管理者へ)。 ・もし噴火したら短時間で降灰の影響を受けると予想されるため、市町村外に域外避難する調整を始めておきたい。避難先市町村を県に調整してもらいたい。	・確認すべき情報は何か。 ・噴火前の域外避難は必要か。 ・問合せ先に対し、どのように対応を促すか。	・降灰への備えは堅牢な建物への避難を促す。 ・不必要な避難を行う人がいる中で噴火が発生すると避難者を含めて滞留者の発生につながってしまう。	・噴火前の域外避難の必要性を検討。 ・必要に応じて火山専門家に相談。 ・問合せ先に対し、どのように対応を促すか(留意すべき事項がある場合、リスク等を示すこと)。 ・回答はコントローラーとするが、方針決定があった場合には、全体に周知すること。
53	指示	15:30	レベル4	情報班	統括班長	紙	市町村の情報 収集②	- 市町村の情報を収集すること。 ・市町村の体制 ・避難情報発令状況、避難所開設情報 ・県に対する要請、要望事項の確認	・市町村の対応状況を共有し、そこから統括部や関係機関による市町村支援の検討に結びつけられるか。 ・防災システムを活用できるか。 ・情報収集において、追加情報の確認や担当者交代を想定して、担当者名まで記録できるか。	(随時行うものであり、付与を行わないこともある)	★★必要に応じて付与★★ ・市町村の対応状況の共有と支援検討 ・防災システムの活用 ・情報収集方法の確認
54	問合せ	15:30	レベル4	西桂町	住民	電話	住民からの問 合せ	・桂川沿川の自治会長です。 ・噴火前に避難した方がよいのではないかな。 ・避難所の開設時期はいつなのか。		※総合防災情報システムの文書フォルダに保存してから、電話すること。 ※市町村は、その場で答えなくてよい。 ※15:50を回答の目安とする。	・避難に関する情報の伝え方(同様の問い合わせの増加に備えてどのように情報発信するか) ・回答は、コントローラーに15:50までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。
55	依頼	15:30	レベル4	富士五湖消 防	市立病院	電話	患者搬送のた めの避難車両 手配要請	・病院避難のため、患者搬送のための車両手配を要請したい。 ・担架搬送が必要な患者を5名です。		■付与【12番】と【35番】で病院避難支援の対応検討、【55番】市立病院→富士五湖消防へ患者搬送要請■	・搬送対応手順、調整先等の確認。 ・回答はコントローラーに行う。 ・関係機関に確認が必要な場合には、訓練の中で確認すること(県医務課、甲府消防等)。
56	指示	15:35	レベル4	情報班	統括班長	紙	道路状況の確 認	・道路通行可否、交通規制状況の確認と本部内での共有を行うこと。	・情報班は、本部において、各機関への照会窓口を担う。必要な情報を各機関から取得し、本部内に共有できるか。 ・交通規制があった場合の迂回路の有無の確認。 ・代替公共交通機関等の確認。		・情報班は、本部において、各機関への照会窓口を担う。必要な情報を各機関から取得し、本部内に共有できるか。 ・交通規制があった場合の迂回路の有無の確認。 ・代替公共交通機関等の確認。

状況付与計画(R4富士山図上訓練)

進行管理者用
(配布なし)

補足情報は紙付
与に記載

No	区分	付与時間 (実時間)	フェーズ	付与先	付与元 (コントローラー)	付与方法	付与件名	付与内容	付与のねらい(参考)	想定される対応例・回答メモ 付与時の留意点	付与時の補助情報 (訓練のための補足情報)
57	問合せ	15:40	レベル4	統括班	応援機関	電話	応援機関、研究者の受入	外部からの応援機関の連絡。 ・国外の火山研究者3名 県の本部に入りたい。	・対応窓口の確認 ・受け入れ先の調整、手配	■付与【31番】と【57番】応援機関 の受入要請■	・対応窓口の確認 ・受け入れ先の調整、手配 ・火山専門家(現地対策本部)に相談してもよい。 ・検討結果(回答)はコントローラーまで。
58	問合せ	15:40	レベル4	医療班	市町村	紙	医療器具等の手配	・某市町村です(回答はコントローラーへ) ・避難先における医薬品、医療機材の調達、医療従事者の派遣は可能ですか。			・回答はコントローラーとするが、方針決定があった場合には、全体に周知すること。 ・要請に対する具体的な検討を実施すること(外部機関との調整、県本部内の調整、いつの時点でどれくらいの規模で調達・派遣できるか)。

終了

様式③：富士山火山防災訓練における 状況付与票

現在時刻 : 13:30
発信元 : 気象台 → 発信先 : 通信班
(コントローラー)
内 容 : 気象庁電文の転送

【訓練】付与方法:紙付与No.

通信班	1
噴火警戒レベル3	

【指示】

噴火警戒レベル3の情報について、412会議室のFAXにより訓練参加市町村に転送すること。

訓練のための補足情報

・訓練中のFAX受信状況も通信班で確認する(実災害も同様)。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:33

【訓練】付与方法:紙

付与No.

発信元 : 統括部長 → 発信先 : 統括班長

(コントローラー)

内 容 : 各班の対応方針確認

統括班長

2

噴火警戒レベル3

【指示】

「統括班長(防災危機管理課長)から、参集している各班長に対し対応方針の確認、各班の対応を確認すること」

訓練のための補足情報

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:33

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 情報班
(コントローラー)

内 容 : 市町村初動体制の把握

【訓練】付与方法:紙

付与No.

情報班

3

噴火警戒レベル3

【指示】

市町村の初動体制について情報収集をすること。

- ・市町村本部設置状況
- ・市町村体制(職員・幹部参集)状況
- ・庁舎設備作動状況(連絡手段確認)
- ・避難状況

訓練のための補足情報

- ・班マニュアルや様式の活用
- ・ホワイトボード等への整理
- ・本部内への共有

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:35

発信元 : 統括部長 (コントローラー) → 発信先 : 統括班長

内 容 : 現地対策本部の開設状況

【訓練】付与方法:紙

付与No.

統括班長

4

噴火警戒レベル3

【照会】

・現地対策本部の体制の確認。場所、幹部職員、必要な資機材の確保状況はどのようになっているか。

訓練のための補足情報

- ・派遣人員(班編制)、指揮者の選定
- ・富士吉田合同庁舎(火山防災対策室)の動き出しタイミング等の確認

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:35

発信元 : 統括部長 → 発信先 : 通信班
(コントローラー)

内 容 : 屋上カメラの設定

【訓練】付与方法:紙

付与No.

通信班

5

噴火警戒レベル3

【指示】

- ・富士吉田合同庁舎の屋上カメラで山体を映し、412会議室のモニターに流すこと。

訓練のための補足情報

- ・統制室の操作により実動で実施(平和通り側のモニターに映写)。
- ・設営後、全体に共有。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻：13:35

発信元：統括副部長 → 発信先：広報班
(コントローラー)

内容：報道対応の方針整理

【訓練】付与方法：紙

付与No.

広報班

6

噴火警戒レベル3

【指示】

- ・報道に対してはどの情報、どのタイミングで発信するのか、報道対応の方針について整理すること。
- ・併せて、今後、知事メッセージを発出する段階、タイミングについても検討すること。
- ・整理した方針については、統括副部長(防災局次長)に報告し、了解を得ること。

訓練のための補足情報

- ・報道対応方針の整理、責任者(広報統括を担う統括副部長)への確認
- ・方針確認後は、報道発表用の情報を入力しながら、リリース準備を整えること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:35

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 県民相談班
(コントローラー)

内 容 : 災害時県民相談センターの設置

【訓練】付与方法:紙

付与No.

県民相談班

7

噴火警戒レベル3

【指示】

- ・県民からの問合せに対応するため、「災害時県民相談センター」を設置すること。

訓練のための補足情報

- ・設置情報について、NHK等、報道へ投げ込みを行う手順の確認(窓口名、電話番号、どのような情報を受け付けるか。広報班と相談)。
- ・今後殺到が予想される問合せへの対応方針、班内での役割調整。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:35

発信元 : (運営からの課題) → 発信先 : 県警察
(コントローラー)

内容 : 検討課題の例

【訓練】付与方法:紙

付与No.

県警察

8

噴火警戒レベル3

【課題】

- ・避難車両、防災応急対策車両の通行のための必要な措置の実施。
- ・県、避難実施市町村と連携し、登山口等での入山規制
- ・上空偵察(消防ヘリと調整)
- ・渋滞箇所等の交通誘導
- ・警戒区域設定前の流入抑制(呼びかけ等)

訓練のための補足情報

・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なこと等を「気づき」としてメモ

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:35

【訓練】付与方法:紙

付与No.

発信元 : (運営からの課題) → 発信先 : 自衛隊

自衛隊

9

内 容 : 検討課題の例

噴火警戒レベル3

【課題】

- ・入山規制時の下山者に対する呼びかけの要請対応(ヘリの手配は可能か)。
- ・病院や消防本部からの避難車両手配の要請対応。

訓練のための補足情報

・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なこと等を「気づき」としてメモ

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:40

発信元 : 知事 → 発信先 : 統括班
(コントローラー)

内 容 : 知事からの問合せ①

【訓練】付与方法:紙

付与No.

統括班

10

噴火警戒レベル3

【照会】

- ・秘書課(知事)から、噴火活動の状況と県の体制について報告の求めあり。

訓練のための補足情報

- ・現時点の噴火活動と、警戒本部体制を回答。
 - ・その他、今後の推移と、知事参集となるタイミングを伝達。
- ※コントローラーに回答してください(電話またはメモ提出)。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:40

発信元 : 市町村 → 発信先 : 情報班
(コントローラー)

内 容 : 入山者に対する下山の広報

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

情報班

11

噴火警戒レベル3

【指示】

- ・富士吉田市です。5合目以上には、山小屋関係者等がいるため、入山している人への呼びかけを行いたい。
- ・広報をお願いできないか。誰がどのように広報するか県本部で検討してもらいたい。

訓練のための補足情報

・要請を受けたのは情報班であるが、内容は対策を実施する班に、正確に伝達すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:40

発信元 : DMAT → 発信先 : 医療班
(コントローラー)

内 容 : 保健医療救護対策本部の設置

【訓練】付与方法:紙

付与No.

医療班

12

噴火警戒レベル3

【問合せ】

・県立中央病院です。県保健医療救護対策本部の体制はどのようになりますか。リエゾンを派遣したいが、本館5階に行けばいいですか。

訓練のための補足情報

- ・県災害警戒本部段階におけるDMATとの調整。
- ・福祉保健部の体制はどうなるか、この時点でDMAT対応は可能か。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:40

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 土木班
(コントローラー)

内 容 : 県管理道路の対応の周知

【訓練】付与方法:紙

付与No.

土木班

13

噴火警戒レベル3

【依頼】

- ・レベル3発表に伴い、入山規制の対応となる。
- ・県管理道路(スバルラインを含む)の通行規制状況等の対応状況について、全体に周知いただきたい。
- ・市町村に確認が必要な事項があれば、統括班を通して確認されたい。

訓練のための補足情報

- ・対応が必要となることが想定される道路について、統括班に共有すること。
- ・市町村に確認が必要な事項は統括班を通して市町村に確認すること。
- ・Zoomミーティングや防災システム(掲示板機能)を通じて全体に周知すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻：13:40

発信元：（運営からの課題） → 発信先：各市町村
（コントローラー）

内 容：今後想定される課題の整理

【訓練】付与方法：システム

付与No.

各市町村

14

噴火警戒レベル3

【課題】

今後のレベルの引き上げや、噴火発生に備えた事前準備（避難所開設等）の実施。

（検討項目の例）

- ・住民広報について、内容や手段（首長メッセージ等）等の検討。
- ・観光客（イベント状況把握）、別荘地、通勤者（休日稼働工場等）へ帰宅を呼びかける案内の実施検討。
- ・避難行動要支援者対応（福祉避難所開設等）の準備。
- ・避難所開設準備。 等

※検討項目ごとに対応記録用紙に整理。関係機関との調整が必要な場合には、訓練の中で確認すること。

訓練のための補足情報

・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なこと等を「気づき」としてメモ

自由メモ欄（記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ）

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

・
・
・
・
・

（メモ記入者）

現在時刻 : 13:40

【訓練】付与方法:紙

付与No.

発信元 : (運営からの課題) → 発信先 : 甲府地区消防
(コントローラー)

甲府地区消防 15

内 容 : 消防機関の広域応援調整

噴火警戒レベル3

訓練のための補足情報

【依頼】

- ・今後想定される広域応援体制(県外の消防本部の受入段階も含む)の検討、調整事項等の確認。

・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なこと等を「気づき」としてメモ

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻：13:45

発信元：知事 → 発信先：統括部長
(コントローラー)

内 容：知事からの問合せ②

【訓練】付与方法：電話

付与No.

統括部長

16

噴火警戒レベル3

【照会】

「中間報告では、1次避難対象エリアは観光客も含めて避難となる。市町村は避難対応が始まるが、県は警戒本部のままで良いのか。県として必要な対応に間に合う体制が取れているのか。」

※コントローラーに回答してください(電話またはメモ提出)。

訓練のための補足情報

- ・県として必要な対応が何で、それを実行するための体制ができているのか整理(①県が行う対応のための体制、②市町村支援等の対外的対応のための体制)。
- ・「避難対応の開始」という指摘に対し、対策本部体制では「避難対策班」があるが、参集させるのか、現在の体制で対応するのか

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:45

発信元 : 住民 → 発信先 : 各市町村
(コントローラー)

内 容 : 住民からの問合せ

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

各市町村

17

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・〇〇(付与先)市町村の住民です。
- ・テレビで富士山が噴火するかもしれないと言っている。
- ・避難所は開設されるのか。

訓練のための補足情報

- ・レベル3段階における住民への情報の伝え方の検討。
- ・同様の問い合わせの増加に備えてどのように情報発信するか、併せて検討。
- ・回答は、コントローラーに14:15までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:45

発信元 : (運営からの課題) → 発信先 : 忍野村
(コントローラー)

内 容 : レベル引き上げに備えた準備

【訓練】付与方法:システム

付与No.

忍野村

18

噴火警戒レベル3

【課題】

- ・警戒レベルがさらに引き上げとなった際に、東富士五湖道路が閉鎖する可能性を考慮した県及び道路管理者との連携、連絡調整を検討。
- ・大規模事業所の一斉避難による混乱の可能性を考慮した対応の検討。
- ・レベル4以上への引き上げを想定した対応の準備。

訓練のための補足情報

- ・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なこと等を「気づき」としてメモ
- ・対応記録用紙への記載でも可

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:50
発信元 : 富士山研 (コントローラー) → 発信先 : 統括班
内 容 : 上空偵察の依頼

【訓練】付与方法:紙付与No.

統括班	19
噴火警戒レベル3	

【依頼】

・富士山研から連絡あり。

「地震が多発している北側の山腹域周辺を
今日か明日にヘリから上空視察したいが、
ヘリの手配をお願いできないか。」

訓練のための補足情報

・航空調整班との上空偵察の調整
(日時、天候、搭乗者、コース、ピックアップ)
・他機関ヘリの動きの確認

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:50

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 情報班
(コントローラー)

内 容 : 市町村の情報収集①

【訓練】付与方法:紙

付与No.

情報班

20

噴火警戒レベル3

【指示】

市町村の情報を収集すること。

- ・市町村の体制
- ・避難情報発令状況、避難所開設情報
- ・県に対する要請、要望事項の確認

また、今後の情報収集における“取りまとめ時間”の設定(何時間おきとするのか)について、統括班と調整すること。

訓練のための補足情報

★★必要に応じて付与★★

- ・市町村の対応状況の共有と支援検討
- ・防災システムの活用
- ・情報収集方法の確認

・取りまとめ時間の設定については、被害が発生している段階ではないことに留意。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:50
発信元 : 統括班長 → 発信先 : 通信班
(コントローラー)
内 容 : 現地対策本部の開設状況

【訓練】付与方法:紙付与No.

通信班	21
噴火警戒レベル3	

【確認】

・現地対策本部における通信手段の確認。
手配。

訓練のための補足情報

- ・現地対策本部で使用する通信手段が何か確認する。
- ・資機材を誰がどのように手配するか。

自由メモ欄(記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

とじしろ

訓練付与情報

40

現在時刻 : 13:50

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

発信元 : 住民 → 発信先 : 県民相談班
(コントローラー)

県民相談班 22

噴火警戒レベル3

内 容 : 県民からの問合せ

訓練のための補足情報

- ・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。
- ・回答例は整理しておく。
- ・会議資料や報道発表資料があれば関係班から入手し、それを基に回答する。
- ・問い合わせを減らすために必要な方策も検討し、関係班に相談すること。

【問合せ】

北麓地域の住民です。「テレビで言っているレベル3ってなんですか？」

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:50

発信元 : DMAT → 発信先 : 医療班
(コントローラー)

内 容 : 県外支援DMATの進出の受入準備

【訓練】付与方法: 紙

付与No.

医療班

23

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・中部ブロックの他県DMATです。
- ・山梨県への進出準備を進めますが、進出のタイミングと、参集拠点の指示があれば教えてほしい。

訓練のための補足情報

- ・受け入れ手順の確認。
- ・回答は対応記録用紙への記載とする。
- ・関係機関との調整が生じる場合には訓練の中で確認すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻：13:50

発信元：統括班長 → 発信先：都留市
(コントローラー)

内 容：流入自粛の呼び掛け

【訓練】付与方法：電話

付与No.

都留市

24

噴火警戒レベル3

【依頼】

- ・県災害警戒本部です。
- ・観光客等の富士五湖方面への流入自粛の呼び掛けに協力いただきたい。
- ・道の駅等の市管理施設における呼びかけは可能か。
- ・広報や道路の関係で要請等ある場合には、県本部に連絡いただきたい。

訓練のための補足情報

- 都留市、大月市、上野原市等山麓から離れている市町村では同様の要請あり■
- ・対応について検討し、県広報班や道路管理者等との調整、要請事項がある場合には、訓練の中で確認すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻：13:50

発信元：統括班長 → 発信先：大月市
(コントローラー)

内 容：流入自粛の呼び掛け

【訓練】付与方法：電話

付与No.

大月市

25

噴火警戒レベル3

【依頼】

- ・県災害警戒本部です。
- ・観光客等の富士五湖方面への流入自粛の呼び掛けに協力いただきたい。
- ・道の駅等の市管理施設における呼びかけは可能か。
- ・広報や道路の関係で要請等ある場合には、県本部に連絡いただきたい。

訓練のための補足情報

- 都留市、大月市、上野原市等山麓から離れている市町村では同様の要請あり■
- ・対応について検討し、県広報班や道路管理者等との調整、要請事項がある場合には、訓練の中で確認すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻：13:50

発信元：統括班長 → 発信先：上野原市
(コントローラー)

内 容：流入自粛の呼び掛け

【訓練】付与方法：電話

付与No.

上野原市

26

噴火警戒レベル3

【依頼】

- ・県災害警戒本部です。
- ・観光客等の富士五湖方面への流入自粛の呼び掛けに協力いただきたい。
- ・道の駅等の市管理施設における呼びかけは可能か。
- ・広報や道路の関係で要請等ある場合には、県本部に連絡いただきたい。

訓練のための補足情報

- 都留市、大月市、上野原市等山麓から離れている市町村では同様の要請あり■
- ・対応について検討し、県広報班や道路管理者等との調整、要請事項がある場合には、訓練の中で確認すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:50

発信元 : 住民 → 発信先 : 山中湖村
(コントローラー)

内 容 : 別荘住民の帰宅対応

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

山中湖村

27

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・別荘住民です。
- ・富士山が噴火するかもしれないとテレビで報道しているが、別荘にとどまっても大丈夫か。
- ・もし帰るとすれば、今後、通れなくなる道路はありますか。

訓練のための補足情報

- ・今後のレベル上昇も踏まえた帰宅対応(情報の伝え方)
- ・回答は、コントローラーに14:30までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:50

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

発信元 : 業者 → 発信先 : 富士河口湖町
(コントローラー)

富士河口湖町 28

噴火警戒レベル3

内 容 : イベント事業者との調整

訓練のための補足情報

- ・中止要請の可否判断(レベル3段階における観光客避難の考え方に留意)
- ・参加者に対する情報の伝え方
- ・回答は、コントローラーに14:30までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

【問合せ】

- ・トレイルラン大会の運営者です。
- ・現在継続中のトレイルランのイベントについて、中止等の要請はありますか。
- ・参加者等への対応について、留意する点はありますか。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:55

発信元 : 内閣府 → 発信先 : 統括班
(コントローラー)

内 容 : 政府の体制確認

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

統括班

29

噴火警戒レベル3

【依頼】

内閣府防災担当です。

- ・国では、火山災害現地連絡調整室を設置します。
- ・県の体制、今後の会議資料、市町村の避難所開設情報を共有、報告いただきたい。

訓練のための補足情報

- ・連絡調整の体制確保
- ・今後に向けた受援体制の確保

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 13:55

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 土木班
(コントローラー)

内 容 : 道路情報表示板を活用した広報支援

【訓練】付与方法: 紙

付与No.

土木班

30

噴火警戒レベル3

【依頼】

- ・道路利用者への広報について、広報班や市町村と連携してもらいたい。
- ・道路情報表示板を活用した広報が可能か検討いただき、箇所等を整理いただきたい。
- ・土木班を通じて、NEXCO中日本でも対応可能か、確認いただきたい。

訓練のための補足情報

- ・表示内容について統括班や広報班に確認。
- ・内容と表示場所について、全体に周知。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:00

発信元 : 応援機関 → 発信先 : 統括班
(コントローラー)

内 容 : 応援機関、研究者の受入

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

統括班

31

噴火警戒レベル3

【問合せ】

外部からの応援機関の連絡。

・防災科学技術研究所および産業技術総合研究所から8名
県の本部に入りたいとのこと。

訓練のための補足情報

- ・対応窓口の確認
- ・受け入れ先の調整、手配
- ・火山専門家(現地対策本部)に相談してもよい

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:00

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 通信班
(コントローラー)

内 容 : 市町村との連絡体制確保

【訓練】付与方法:紙

付与No.

通信班

32

噴火警戒レベル3

【指示】

- ・情報班から市町村本部の体制を確認すること。
- ・市町村との情報伝達手段について、確保・確認すること(防災行政無線、FAX等)

訓練のための補足情報

- ・県本部、市町村本部、県現地対策本部の情報伝達手段の確認。
- ・降灰時の影響を踏まえた通信手段の確保。
- ・対応記録用紙に記載。必要に応じて各市町村と確認。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:00

発信元 : 市町村 → 発信先 : 航空調整班
(コントローラー)

内 容 : 5合目以上への下山呼びかけ

【訓練】付与方法:紙

付与No.

航空調整班 33

噴火警戒レベル3

【依頼】

- ・某市町村です。
- ・入山規制実施となっているが、山小屋関係者等、5合目以上に滞在している人もいる。
- ・下山の呼びかけを行いたいが、防災ヘリで広報は可能か。
- ・県警にも同様の相談をしたいと考えている。

訓練のための補足情報

- ・呼びかけメッセージは、統括班や関係市町村と調整する。
- ・ヘリを持つ機関とも活動調整を行うこと。
- ・調整、決定事項は、全体に周知を行い、対応記録用紙に記載。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:00

発信元 : 住民 → 発信先 : 県民相談班
(コントローラー)

内 容 : 県民からの問合せ

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

県民相談班 34

噴火警戒レベル3

【問合せ】

西桂町の住民です。民放で、火山専門家の大学教授が、富士山の大規模噴火の可能性に言及している。どうしたらよいのか。

訓練のための補足情報

- ・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。
- ・回答例は整理しておく。
- ・対応記録をシステムのクロノロジーに登録することで、全体への共有に有効。
- ・デマ情報の拡散防止にも留意（広報班にも情報共有し、対応を検討）。
- ・山麓以外の市町村であれば溶岩流到達には時間的な余裕があることにも留意（ハザードマップ確認）

自由メモ欄（記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ）

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

（メモ記入者）

現在時刻 : 14:00

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 医療班
(コントローラー)

内 容 : 病院避難支援

【訓練】付与方法:紙

付与No.

医療班

35

噴火警戒レベル3

【指示】

- ・病院避難支援(富士吉田市立病院、山梨赤十字病院)の対応について確認されたい。
- ・車両による患者搬送支援が生じるのか、車両の手配はどうするのか。
- ・航空搬送のためSCUを設置するのか。防災ヘリへの依頼の可能性はあるか。

訓練のための補足情報

- ・レベル4に備えた体制の確保。
- ・富士吉田市や富士五湖消防本部等の関係機関に確認して検討すること。
- ・検討結果は全体に共有すること。
- ・対応記録にも記載すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:00

発信元 : 住民 → 発信先 : 富士吉田市
(コントローラー)

内 容 : 住民からの問合せ

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

富士吉田市 36

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・市内居住者です。
- ・入山規制が行われると聞いたが、わかりにくいので、案内板等の措置をお願いしたい。
- ・勝手に入っていく人の対応はできているのか。
- ・設置されているのであれば、場所を教えてください。

訓練のための補足情報

- ・入山規制の実施内容について、具体的(場所、時間、方法、実施者等)に検討すること。
- ・関係者に要請する必要がある場合には、訓練の中で確認すること。
- ・住民等に対する情報の伝達方法の検討。
- ・規制箇所の制限方法、実施者の検討(侵入者の抑止)。
- ・回答は、コントローラーに14:40までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:00

発信元 : 住民 → 発信先 : 鳴沢村
(コントローラー)

内 容 : 住民からの問合せ

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

鳴沢村

37

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・村内居住者です。
- ・入山規制が行われると聞いたが、わかりにくいので、案内板等の措置をお願いしたい。
- ・勝手に入っていく人の対応はできているのか。
- ・設置されているのであれば、場所を教えてください。

訓練のための補足情報

- ・入山規制の実施内容について、具体的(場所、時間、方法、実施者等)に検討すること。
- ・関係者に要請する必要がある場合には、訓練の中で確認すること。
- ・住民等に対する情報の伝達方法の検討。
- ・規制箇所の制限方法、実施者の検討(侵入者の抑止)。
- ・回答は、コントローラーに14:40までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:00

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

発信元 : 住民 (コントローラー) → 発信先 : 富士河口湖町

富士河口湖町 38

噴火警戒レベル3

内 容 : 住民からの問合せ

【問合せ】

- ・町内居住者です。
- ・入山規制が行われると聞いたが、わかりにくいので、案内板等の措置をお願いしたい。
- ・勝手に入っていく人の対応はできているのか。
- ・設置されているのであれば、場所を教えてください。

訓練のための補足情報

- ・入山規制の実施内容について、具体的(場所、時間、方法、実施者等)に検討すること。
- ・関係者に要請する必要がある場合には、訓練の中で確認すること。
- ・住民等に対する情報の伝達方法の検討。
- ・規制箇所の制限方法、実施者の検討(侵入者の抑止)。
- ・回答は、コントローラーに14:40までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:00

発信元 : 市町村 → 発信先 : 県警
(コントローラー)

内 容 : 5合目以上への下山呼びかけ

【訓練】付与方法:紙

付与No.

県警

39

噴火警戒レベル3

【依頼】

- ・某市町村です。
- ・入山規制実施となっているが、山小屋関係者等、5合目以上に滞在している人もいる。
- ・下山の呼びかけを行いたいが、県警へりで広報は可能か。
- ・航空隊にも同様の相談をしたいと考えている。

訓練のための補足情報

- ・呼びかけメッセージは、統括班や関係市町村と調整する。
- ・ヘリを持つ機関とも活動調整を行うこと。
- ・調整、決定事項は、全体に周知を行い、対応記録用紙に記載。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:05

発信元 : 議員秘書 → 発信先 : 統括班
(コントローラー)

内 容 : 国会議員からの問合せ

【訓練】付与方法: 紙

付与No.

統括班

40

噴火警戒レベル3

【照会】

国会議員Aの秘書から、噴火活動の状況と
県の体制について報告の求めあり。

訓練のための補足情報

- ・現時点の内容でコントローラーに回答(電話またはメモ提出)。
- ・今後の同様の問いに備え、議員用に提供する内容の整理、タイミングについても検討すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:10

発信元 : 市町村 → 発信先 : 広報班
(コントローラー)

内 容 : 県HPによる広報

【訓練】付与方法:紙

付与No.

広報班

41

噴火警戒レベル3

【依頼】

某市町村です。

- ・富士山の活動状況を広報するWebページについて、県で開設してもらえるのか。
- ・このページのリンクは、市町村HPに貼り付ける等して、住民等に広報したい。

訓練のための補足情報

- ・検討結果は市町村(全体)に周知すること。
- ・県公式HPだけでなく、その他の手段についても検討し、関係班と調整すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:10

発信元 : 住民 → 発信先 : 県民相談班
(コントローラー)

内 容 : 県民からの問合せ

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

県民相談班 42

噴火警戒レベル3

【問合せ】

北麓地域の住民です。「すぐに噴火するんですか」

訓練のための補足情報

- ・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。
- ・回答例は整理しておく。
- ・会議資料や報道発表資料があれば関係班から入手し、それを基に回答する。
- ・問い合わせを減らすために必要な方策も検討し、関係班に相談すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:15

発信元 : 業者 → 発信先 : 山中湖村
(コントローラー)

内 容 : イベント事業者との調整

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

山中湖村

43

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・きららの音楽イベントの主催者です。
- ・富士山の噴火に関する情報が出たと聞きました。
- ・中止の要請はありますか。
- ・参加者、関係者への情報提供等で留意点等がありますか。

訓練のための補足情報

- ・中止要請の可否判断(レベル3段階における観光客避難の考え方に留意)
- ・参加者に対する情報の伝え方
- ・回答は、コントローラーに14:50までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:20

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

発信元 : 住民 → 発信先 : 県民相談班
(コントローラー)

県民相談班

44

噴火警戒レベル3

内 容 : 県民からの問合せ

訓練のための補足情報

- ・問い合わせは、基本的には県民相談班で対応。
- ・回答例は整理しておく。
- ・デマ情報の拡散防止にも留意（広報班にも情報共有し、対応を検討）。
- ・問い合わせを減らすために必要な方策も検討し、関係班に相談すること。

自由メモ欄（記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ）

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

（メモ記入者）

【問合せ】

北麓地域の住民です。「山頂から噴火して北麓全域に影響があるんですか？」

現在時刻 : 14:20

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

発信元 : 住民 → 発信先 : 富士河口湖町
(コントローラー)

富士河口湖町 45

噴火警戒レベル3

内 容 : 酪農家からの問合せ

訓練のための補足情報

- ・一時的な立ち入りの可否判断
- ・今後予想される類似の問い合わせに対する情報の伝え方
- ・家畜避難に関する調整先の確認。
- ・必ずしも明確な回答は求めない。今後の検討のためのヒントとする。
- ・回答は、コントローラーに14:50までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

【問合せ】

- ・富士ヶ嶺地区(第1次避難対象エリア)の酪農家です。
- ・慌てて避難してしまったが、牛の様子を確認したい。
- ・どこに許可を取ればよいのか。
- ・すぐ近くだし、1時間で戻ってこれると思うので、見に行ってきたても良いか。

現在時刻 : 14:30

発信元 : 統括副部長 → 発信先 : 広報班
(コントローラー)

内 容 : 報道機関等の統制

【訓練】付与方法:紙

付与No.

広報班

46

噴火警戒レベル3

【指示】

- ・レベル3の発表、今後の火山活動の高まりから、海外を含めたメディアの殺到が予想される。
- ・報道対応、統制について、検討されたい。

訓練のための補足情報

- ・世界的な知名度もあり、国内外からの多数メディアの殺到が予想される。
- ・現地の統制、情報発信をどのように行うか（派遣人員、対応場所等）検討する。

自由メモ欄 （記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ）

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

（メモ記入者）

現在時刻 : 14:30

発信元 : 市町村 → 発信先 : 医療班
(コントローラー)

内 容 : 福祉施設避難支援

【訓練】付与方法:紙

付与No.

医療班

47

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・某市町村です(回答はコントローラーへ)。
- ・管内の福祉施設の利用者の搬送支援は可能ですか。

訓練のための補足情報

- ・避難行動要支援者対策として支援可能な対応の確認。
- ・回答はコントローラーへ行う。
- ・対応可能なことがある場合、回答後、訓練の中で市町村全体に周知する(条件、タイミング等)こと。
- ・実施できない場合も、全体共有すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 14:45

発信元 : 市町村 → 発信先 : 医療班
(コントローラー)

内 容 : 在宅要支援者避難支援

【訓練】付与方法:紙

付与No.

医療班

48

噴火警戒レベル3

【問合せ】

- ・某市町村です(回答はコントローラーへ)。
- ・管内の在宅の避難行動要支援者に対する支援はありますか。

訓練のための補足情報

- ・避難行動要支援者対策として支援可能な対応の確認。
- ・回答はコントローラーへ行う。
- ・対応可能なことがある場合、回答後、訓練の中で市町村全体に周知する(条件、タイミング等)こと。
- ・実施できない場合も、全体共有すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:23

発信元 : 統括副部長 → 発信先 : 広報班
(コントローラー)

内 容 : 知事メッセージの発信

【訓練】付与方法:紙

付与No.

広報班

49

噴火警戒レベル4

【指示】

- ・対策本部設置に伴い、知事メッセージの発信を検討したい。
- ・内容、発信手段の検討も行うこと。

訓練のための補足情報

- ・統括班との内容調整
- ・発信手段や手順等の確認

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:25

発信元 : 内閣府 → 発信先 : 統括班
(コントローラー)

内 容 : 政府の体制確認と受援体制の確立

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

統括班

50

噴火警戒レベル4

【依頼】

内閣府防災担当です。

- ・国では、火山災害現地警戒本部の設置に移行します。
- ・県の体制、会議資料、市町村の避難所開設情報を共有、報告いただきたい。
- ・また、「合同会議」の場も必要になるため、設置について検討してもらいたい。

訓練のための補足情報

- ・受入場所の調整、確保(規模の確認)
- ・対応窓口の確認
- ・「合同会議」設置について、関係機関調整、開催場所等を検討。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:25

【訓練】付与方法:紙

付与No.

発信元 : (運営からの課題) → 発信先 : 医療班
(コントローラー)

医療班

51

噴火警戒レベル4

内 容 : 保健医療救護対策本部の設置、体制確認

訓練のための補足情報

・実際の対応をイメージしたときに、現時点では調整不足なこと、実施困難なこと等を「気づき」としてメモ

【問合せ】

- ・保健医療救護対策本部運営(搬送調整、拠点本部となる保健所の対応)、県災害対策本部との連絡調整について確認すること。
- ・活動拠点の設置状況、EMIS入力等による情報通信手段について確認すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

・
・
・
・
・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:30

発信元 : 市町村 → 発信先 : 統括班
(コントローラー)

内 容 : 降灰による域外避難の打診

【訓練】付与方法:紙

付与No.

統括班

52

噴火警戒レベル4

【依頼】

- ・某市町村です(回答は進行管理者へ)。
- ・もし噴火したら短時間で降灰の影響を受けると予想されるため、市町村外に域外避難する調整を始めておきたい。避難先市町村を県に調整してもらいたい。

訓練のための補足情報

- ・噴火前の域外避難の必要性を検討。
- ・必要に応じて火山専門家に相談。
- ・問合せ先に対し、どのように対応を促すか(留意すべき事項がある場合、リスク等を示すこと)。
- ・回答はコントローラーとするが、方針決定があった場合には、全体に周知すること。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:30

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 情報班
(コントローラー)

内 容 : 市町村の情報収集②

【訓練】付与方法:紙

付与No.

情報班

53

噴火警戒レベル4

【指示】

市町村の情報を収集すること。

- ・市町村の体制
- ・避難情報発令状況、避難所開設情報
- ・県に対する要請、要望事項の確認

訓練のための補足情報

★★必要に応じて付与★★

- ・市町村の対応状況の共有と支援検討
- ・防災システムの活用
- ・情報収集方法の確認

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:30

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

発信元 : 住民 → 発信先 : 西桂町
(コントローラー)

西桂町

54

噴火警戒レベル4

内 容 : 住民からの問合せ

訓練のための補足情報

- ・避難に関する情報の伝え方(同様の問い合わせの増加に備えてどのように情報発信するか)
- ・回答は、コントローラーに15:50までに電話で行うこと。対応記録用紙にも記載すること。

【問合せ】

- ・桂川沿川の自治会長です。
- ・噴火前に避難した方がよいのではないか。
- ・避難所の開設時期はいつなのか。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:30

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

発信元 : 市立病院 → 発信先 : 富士五湖消防
(コントローラー)

富士五湖消防 55

噴火警戒レベル4

内 容 : 患者搬送のための避難車両手配要請

訓練のための補足情報

- ・搬送対応手順、調整先等の確認。
- ・回答はコントローラーに行う。
- ・関係機関に確認が必要な場合には、訓練の中で確認すること(県医務課、甲府消防等)。

【依頼】

- ・病院避難のため、患者搬送のための車両手配を要請したい。
- ・担架搬送が必要な患者を5名です。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:35

発信元 : 統括班長 → 発信先 : 情報班
(コントローラー)

内 容 : 道路状況の確認

【訓練】付与方法:紙

付与No.

情報班

56

噴火警戒レベル4

【指示】

- ・道路通行可否、交通規制状況の確認と本部内での共有を行うこと。

訓練のための補足情報

- ・情報班は、本部において、各機関への照会窓口を担う。必要な情報を各機関から取得し、本部内に共有できるか。
- ・交通規制があった場合の迂回路の有無の確認。
- ・代替公共交通機関等の確認。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:40

発信元 : 応援機関 → 発信先 : 統括班
(コントローラー)

内 容 : 応援機関、研究者の受入

【訓練】付与方法: 電話

付与No.

統括班

57

噴火警戒レベル4

【問合せ】

外部機関(研究者)から、協力の申し出があった。協定等には基づかないもの。県の本部に入りたいとのことであるが、対応について確認されたい。

訓練のための補足情報

- ・対応窓口の確認
- ・受け入れ先の調整、手配
- ・火山専門家(現地対策本部)に相談してもよい。
- ・検討結果(回答)はコントローラーまで。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

現在時刻 : 15:40

発信元 : 市町村 → 発信先 : 医療班
(コントローラー)

内 容 : 医療器具等の手配

【訓練】付与方法:紙

付与No.

医療班

58

噴火警戒レベル4

【問合せ】

- ・某市町村です(回答はコントローラーへ)
- ・避難先における医薬品、医療機材の調達、医療従事者の派遣は可能ですか。

訓練のための補足情報

- ・回答はコントローラーとするが、方針決定があった場合には、全体に周知すること。
- ・要請に対する具体的な検討を実施すること(外部機関との調整、県本部内の調整、いつの時点でどれくらいの規模で調達・派遣できるか)。

自由メモ欄 (記録用紙「気づき」欄の補助、備忘メモ)

実際の防災行動で気をつけたいこと、今回の机上訓練ではよく確認できなかったこと、今後に活かしたい気づき等

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

(メモ記入者)

**様式④：軽井沢町防災訓練における
振り返りシート**

【実際に噴火した場合に備えた円滑な防災対応の実現に関する気づきと解決案①】

・下記には、本訓練を通じて気づいた懸念とその解決策を紹介

参集への懸念

季節渋滞や休日・夜間等で職員参集や関係機関集合に時間がかかる場合の対応が懸念される。
 解決案として、オンラインで対応できる部分（例：レク、会議等）があれば参集できない場合でも出先での行動を定め、簡易的にマニュアル化できるか検討できるか考えてみると良い。

【現 状】 原則、庁内の会議室に参集。

【改善案】 業務の優先順位付け（十分な人員が参集できていない段階でも最低限必要な項目は何か）、参集しなくてもできる業務があればオンライン等代替手段の検討。

人員配置上の懸念

今回の訓練では机上対応の部分もあり、全体的に円滑に進行できていると感じた。
 一方で、実際の噴火対応では住民等の避難対応や本部移動などで人手が足りなくなる可能性がある。
 例えば、振り返りで人員が不足しそうな対応の抽出と、そのカバーのための最低限必要な人員数の整理を行い、その人員数でやりくりできる防災行動のためにできることを検討することが必要。
 （例：対応状況等のオンライン共有DX導入、あらかじめ安全な場所にある関係機関（消防本部等）との連携）

【現 状】 今回の訓練では、住民や避難促進施設等への伝達、避難誘導、問合せ対応、関係各機関との調整など実際の対応では時間がかかったり、対応人員が必要となる対応については机上での対応が多く含まれていた。

【改善案】 地域防災計画や火山避難計画等に基づく噴火時の対応について、
 ①まず実際にはどのくらいの時間、人員、対応資機材等が必要になるかを整理し、
 ②現状の人員体制を超える部分について、町の関連部署、機関等で役割分担が可能か、少ない人員でも対応できる工夫（システムやツール等）、
 業務の優先順位（後から対応しても何とかなる業務は何か）
 など限られた体制等でカバーできる方法について議論していく必要がある。

【実際に噴火した場合に備えた円滑な防災対応の実現に関する気づきと解決案】

・下記には、本訓練を通じて気づいた懸念とその解決策を紹介

情報収集のための専任職員配置

今回のようなレベル4以上の場合において、火山活動をリアルタイムで情報収集をしている職員は配置できていたか。

（特にレベル4以上では居住地域の危険に直結しやすい。）

例えば気象庁との窓口になる職員が、刻々と変化する火山噴火状況を把握、共有できると良い。

軽井沢町は山体に近く、また火口からみて風下側になりやすい位置でもあるため、

降灰や小さな噴石が短時間で到達する可能性が大きいと考えられる。

そのため、情報収集のための専任職員の配置は必要。

【現 状】 今回想定したような大規模噴火が懸念される状況では、刻々と状況が変化、あるいは急変することも起こりえる。住民等への情報伝達や避難誘導の判断は、火山活動状況に応じて適切に行う必要がある。今回の訓練においては火山活動の情報を収集する専任職員の配置は無いように見受けられた（訓練シナリオ上で、気象庁からの情報が変化していったが、どのようにその情報を確認し庁内に共有していたのかが分かりにくかった）。

【改善案】 火山活動状況に対応した気象庁の発表情報や個別の連絡情報、火山専門家のコメント、主たるメディア報道などのリアルタイム情報を収集し、防災対応の判断のために共有できる庁内チーム（もしくは専任職員）を配置することが望まれる。

【訓練の想定や実施内容への気づき】

・下記には、本訓練を通じて気づいた想定や実施内容への振り返りを記載

気づき（災対本部）

- 役場庁内放送のボリュームが小さく、聞き取りづらかった印象（第3、第4会議室周辺の廊下での印象）。
→ **【改善案】** 職員用のメーリングリスト等を用いた放送内容を共有すると後から見直すこともでき効果的である。（ただし、今回は訓練のため庁内放送の音量・放送範囲を絞っていた可能性もある。）
- 訓練想定で中～大規模噴火が発生している状況であるため、降灰や噴石に関する情報（どの辺が通行に支障があるのか？）を把握しないと高齢者避難等の具体的な避難ルートの指示が難しいのではないかと。
→ **【改善案】** 今後、訓練を繰り返して職員の初動対応をより習熟させていくために、降灰や小さな噴石など避難行動に支障となる条件を加味し、その際にどのような避難誘導・指示を行うかを「訓練のねらい（課題）」として取り組んでいくことが効果的である。
- 災害対策本部の体制設置訓練では町の各部署での対応報告が主で、県や協議会との連絡・報告の共有や他自治体等の状況確認などが（机上でも）十分に行われていなかったように見えた。
→ **【改善案】** 実際の噴火対応では近隣市町村での動きや被害状況など、県や他の協議会関係機関との情報共有が必要となると考えられる。そのため、町単独の訓練の場合は机上での他機関役の訓練運営側の職員を置き、どのような内容のやりとりが想定されるかを把握することが効果的である。
- 当日の訓練でクロノロジー（一連の流れの記録）対応はしていたか不明。訓練の全体像を把握し、振り返るための記録は実際の災害時にも有用であり、訓練においても明確な形で実施しておくが良い。
→ **【改善案】** （クロノロジー記録をしていなかった場合）専任の記録係を配置し、オンラインでの連絡手段等も活用して訓練全体の時系列での対応を記録しておくことが望ましい。

【訓練の想定や実施内容への気づき】

・下記には、本訓練を通じて気づいた想定や実施内容への振り返りを記載

気づき（風越公園）

- 災害対策本部の移動訓練は、移動先である風越公園においても本部会議を開くまで確認をした方が良く感じた（実際にはかなりの人手や手順を必要とするはず）。
 - **【改善案】** 噴火警戒レベル5による災対本部の移動は、多岐に渡る手間や作業が生じると予想される。実際に、噴火警戒レベル5を経験する機会は希少であると考えられるため、訓練においてこそ災対本部の移動訓練において、その移動作業の規模感や確保すべき人員数や役割分担などを確認しておくことが効果的である。
- 住民が立ちっぱなしで辛いとの声あり。
 - **【改善案】** ・次回は椅子など、休憩できる箇所を分散してはどうか。
 - ・班によっては、導線が煩雑であったため、改良の余地あり。

軽井沢町防災訓練 振り返り（訓練チェックシート①）

評価員チェックシート（1026_軽井沢町防災訓練）

訓練項目	令和6年度 軽井沢町防災訓練実施要綱
訓練目標	軽井沢町地域防災計画に基づき、災害発生時における被害を最小限にとどめるため、防災関係機関と地域住民が相互に連携し、浅間山噴火、地震等を想定した各種防災訓練を総合的に実施することにより、地域住民の防災意識の高揚と知識向上を図る。
訓練日時	令和6年10月26日（土）9時～13時（雨天決行）
訓練場所	軽井沢町役場、風越公園
評価員	内閣府（防災担当） 高江洲 陽輔

主な活動項目	高齢者等避難訓練【発令判断訓練】	災害対策本部設置・会議開催訓練	高齢者等避難、災害対策本部設置、避難所開設	高齢者等避難訓練
活動目標	高齢者等避難、住民への避難準備に関する指示	災害対策本部（レベル4）の町長指示	（レベル4）町長指示の実行	要配慮者施設での避難訓練実施
評価員の確認事項	☒ 町長は、高齢者等避難について、総務課長に円滑に指示したか	☒ 町長は、以下について総務課長に円滑に指示したか ☒ 関係職員の招集 ☒ 高齢者等避難の避難指示発令 ☒ 高齢者等のための避難所開設	☒ 総務課長は、以下について関係課に円滑に連絡したか ☒ 関係職員の招集（行政総務係長） ☒ 高齢者等避難の避難指示（情報推進課、住民課） ☒ 高齢者等のための避難所開設（住民課）	☒ 防災無線放送、メール配信が速やかにできたか（福祉避難所への避難、というシナリオ） ☐ 放送後、各施設で避難訓練を開始できているか ☐ 静山荘 ☐ みなみかるいざわ敬老園 ☐ かるいざわ敬老園 ☐ 軽井沢保育園 ☐ 「木もれ陽の里」への避難が順調に実施できたことの報告を受けたか
発生した時刻	8:30	8:32	8:34	8:35
発生した場所	軽井沢町役場（町長室）	軽井沢町役場（町長室）	軽井沢町役場（秘書室から各課へ内線）	軽井沢町役場（住民推進課）
該当班（者）	町長、総務課長	町長、総務課長	総務課長、業務総務係長、情報推進課、保険福祉課、住民課	情報推進課（広報広聴係）
該当事象	噴火警戒レベル4（高齢者等避難）	噴火警戒レベル4（高齢者等避難）	噴火警戒レベル4（高齢者等避難）	噴火警戒レベル4（高齢者等避難）
認知した内容（事実のみ）	口頭での指示状況を確認	口頭での指示状況を確認	庁内電話での連絡状況を確認	各施設ごとに訓練実施（遠隔地のため今回の訓練で未確認）
推定要因及びコメント	－	－	－	・避難訓練実施時に、施設利用者に対して火山災害の特徴や噴火時の対応について周知することが望ましい。
参考資料	☒ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☐ なし	☐ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☒ なし	☒ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☐ なし	☐ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☒ なし
備考		（写真：同左）		（遠隔地のため写真無し）

軽井沢町防災訓練 振り返り（訓練チェックシート②）

評価員チェックシート（1026_軽井沢町防災訓練）

訓練項目	令和6年度 軽井沢町防災訓練実施要綱
訓練目標	軽井沢町地域防災計画に基づき、災害発生時における被害を最小限にとどめるため、防災関係機関と地域住民が相互に連携し、浅間山噴火、地震等を想定した各種防災訓練を総合的に実施することにより、地域住民の防災意識の高揚と知識向上を図る。

訓練日時	令和6年10月26日（土）9時～13時（雨天決行）
訓練場所	軽井沢町役場、風越公園
評価員	内閣府（防災担当） 高江洲 陽輔

主な活動項目	災害対策本部設置・会議開催訓練	（シナリオ）避難誘導訓練のバス出発確認	避難指示発令訓練	避難指示発令訓練
活動目標	災害対策本部（レベル4）の参集、体制設置確認	風越公園への避難誘導バスの運行確認	住民への情報伝達、避難指示の流れ確認	警察に交通規制、消防団に出動を要請
評価員の確認事項	【参集】 8:40 ☒ 関係職員の招集を速やかに行なったか ☒ 関係各課の職員は速やかに参集したか 【体制設置】 8:47 ☒ 町長が関係各課等の非常配備体制を確認したか	8:35放送を受けた住民の公民館への参集 ☐ 避難誘導バス（3ルート、各1台）は予定通り運行できているか ☐ ①号車（三ツ石、追分、借宿） ☐ ②号車（千ヶ滝西、中軽井沢） ☐ ③号車（大日向、鳥井原、油井）	☒ レベル5引き上げの庁内周知を速やかに行なったか（庁内放送） ☒ 住民へのレベル5周知を速やかに行なったか（訓練では災対本部内のみでの発声）	☒ 本部長は速やかに警察に交通規制を要請できたか ☒ 警察は速やかに出動したか（訓練では机上対応） ☒ 消防団は速やかに出動したか（訓練では机上対応）
発生した時刻	8:40	9:00	9:00	9:00
発生した場所	軽井沢町役場（第3・4会議室）	訓練事務局による連絡	軽井沢町役場（第3・4会議室）	軽井沢町役場（第3・4会議室）
該当班（者）	町長・副町長・教育長・庁内全課、振興公社事務局長・軽井沢警察署長・軽井沢警察署警備課長・軽井沢警察署交通課長・軽井沢町消防団長（訓練欠席機関は未記載）	訓練事務局、バス引率担当の町職員	町長、総務課、住民課	本部長、軽井沢警察署長、消防団長
該当事象	噴火警戒レベル4（高齢者等避難）	噴火警戒レベル4（高齢者等避難）	噴火警戒レベル5（避難）	噴火警戒レベル5（避難）
認知した内容（事実のみ）	災害本部設置、開催状況を確認	各地区での参集状況は未確認であるが、風越公園に各地区からの避難者がバスで予定通り到着していることを確認	レベル5への対応状況を確認（想定時刻よりもやや前倒しで進行）	レベル5への対応状況を確認
推定要因及びコメント	・各部局コメントがやや長い、もう少し簡潔でも良い。 ・議員の参集についても、シナリオに盛り込んで良い。 ・県や協議会との共有情報について周知しても良い。	・テクノロジーがあっても良い。（複数の遠隔地での行動のため、避難誘導状況の随時共有に有効）	・テクノロジーがあっても良い。（訓練全体の時系列対応の記録、振り返りの課題抽出に有効）	—
参考資料	☒ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☐ なし	☐ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☒ なし	☐ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☒ なし	☐ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☒ なし
備考		（写真：同左）	（写真：同左）	（写真：同左）

軽井沢町防災訓練 振り返り（訓練チェックシート③）

評価員チェックシート（1026_軽井沢町防災訓練）

訓練項目	令和6年度 軽井沢町防災訓練実施要綱
訓練目標	軽井沢町地域防災計画に基づき、災害発生時における被害を最小限にとどめるため、防災関係機関と地域住民が相互に連携し、浅間山噴火、地震等を想定した各種防災訓練を総合的に実施することにより、地域住民の防災意識の高揚と知識向上を図る。
訓練日時	令和6年10月26日（土）9時～13時（雨天決行）
訓練場所	軽井沢町役場、風越公園
評価員	内閣府（防災担当） 高江洲 陽輔

主な活動項目	災害対策本部移動訓練	（シナリオ）風越公園への移動	（シナリオ）参加者による体験訓練	（シナリオ）参加者による展示見学
活動目標	庁舎被害の可能性があるため、本部移転を判断	円滑に移動できたか確認	各種体験訓練を6班に分けて体験（60分/班）	ドローンによる物資輸送デモンストレーション
評価員の確認事項	☒ 本部長は速やかに総務課長に指示したか ☒ 総務課長は円滑に各所への移転指示をできたか（担当係長による庁内周知） ☒ マイクロバス（議員） ☒ マイクロバス（災対本部関係職員） ☒ 町長車、理事用の車 ☒ 消防指令車（署長、消防団長）	☒ 全職員等が予定時間で順調に移動できたか （移動に関する問題点や課題） ☒ 移動方法：町手配のバス ☐ 移動時間： ☐ その他：	☒ 体験訓練の運営に問題はなかったか（体験訓練に関する問題点や課題） ☒ 班分け：A～E ☒ 誘導や動線：△ ☒ 設定時間：○ ☒ 課題がみられた体験・見学： ☐ ①煙体験 ☐ ②展示ブース ☐ ③救命救急 ☐ ④展示ブース ☐ ⑤初期消火 ☐ ⑥展示ブース	☒ 体験訓練の運営に問題はなかったか（問題点や課題） ☒ ドローンデモ会場への誘導 ☒ ドローンデモ（11:15～） ☒ その他（安全確保など）
発生した時刻	9:20	9:50	9:55	11:00
発生した場所	軽井沢町役場（第3・4会議室）	風越公園	風越公園体育館	風越公園（グラウンド）
該当班（者）	訓練参加全職員、消防署員、消防団長 町議会議員、住民参加者	訓練参加全職員、消防署員、消防団長 町議会議員、住民参加者	体験訓練の運営担当職員 住民参加者	ドローンデモの運営担当職員 住民参加者
該当事象	噴火警戒レベル5（避難）	噴火警戒レベル5（避難）	噴火警戒レベル5（避難）	噴火警戒レベル5（避難）
認知した内容（事実のみ）	職員等の移動状況を確認	統率の取れた状態で、ほぼ予定時間に到着したことを確認	住民参加者が複数班に分かれて、各コースを順番に体験したことを確認（コースによって所要時間に差があるようにみ	見学者から安全な距離を確保した上で、ドローンによる物資輸送デモ状況を確認
推定要因及びコメント	・気象庁の発出する情報に張り付け職員がいても良い。 ・早めに終わったため、やや手持ち無沙汰の職員がいた。	・実際の噴火時に同様の対応を行う場合に支障となる条件を挙げて対応策を議論することが望ましい。	・住民が立ち止まらずに辛いとの声あり。次回は椅子など、休憩できる箇所を分散してはどうか。 ・班によって導線が煩雑な印象。改良の余地あり。	・見学者とドローン飛行区域の間はグラウンドのネットで仕切られており、十分に安全を確保した状態で運用されていた。
参考資料	☒ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☐ なし	☒ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☐ なし	☒ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☐ なし	☒ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☐ なし
備考				

軽井沢町防災訓練 振り返り（訓練チェックシート④）

評価員チェックシート（1026_軽井沢町防災訓練）

訓練項目	令和6年度 軽井沢町防災訓練実施要綱
訓練目標	軽井沢町地域防災計画に基づき、災害発生時における被害を最小限にとどめるため、防災関係機関と地域住民が相互に連携し、浅間山噴火、地震等を想定した各種防災訓練を総合的に実施することにより、地域住民の防災意識の高揚と知識向上を図る。
訓練日時	令和6年10月26日（土）9時～13時（雨天決行）
訓練場所	軽井沢町役場、風越公園
評価員	内閣府（防災担当） 高江洲 陽輔

主な活動項目	（コントローラー）住民問合せ対応	炊出訓練	（シナリオ）バス送迎	（その他）気づき等
活動目標	住民からの問い合わせへの対応（該当課）	訓練参加者へ炊き出し等	バス移動した訓練参加者を各地区へ送迎	
評価員の確認事項	☐ 住民からの問い合わせ（コントローラーが住民役）に対して該当課が速やかに対応できたか （以下の対応ができたか） ☐ 関係課との連携、検討 ☐ 事務局への報告	【炊き出し：体育館北側入口】 ☒ 炊き出しは円滑に実施できたか （準備手順、準備量など） 【備蓄食料品の持ち帰り：体育館2階アリーナ】 ☒ 備蓄食料品の持ち帰りは円滑に実施できたか （周知、持ち帰り状況など）	☒ 送迎バスへの誘導は問題なくできたか ☒ ①号車（三ツ石、追分、借宿） ☒ ②号車（千ヶ滝西、中軽井沢） ☒ ③号車（大日向、鳥井原、油井）	
発生した時刻	不明	11:40	12:20	
発生した場所	軽井沢町役場？風越公園への本部移動後？	風越公園体育館北側入口、体育館2階アリーナ	風越公園バス駐車場～各地区（送迎）	
該当班（者）	訓練事務局、庁内各課	軽井沢町赤十字奉仕団（炊き出し） 長野LP協会佐久支部軽井沢地区（ガス資材提供）	事務局、バス送迎担当	
該当事象	噴火警戒レベル3・4・5	噴火警戒レベル5（避難）	噴火警戒レベル5（避難）	
認知した内容（事実のみ）	（実施状況は未確認）	炊き出し（白米、汁物）の配布状況を確認	－	
推定要因及びコメント	・訓練シナリオにはないが、R6.8.7の付与内容に7-8件の問い合わせ想定あり。次回以降の訓練で付与条件とするのも良い。	・統制の取れた（手慣れた）運用のように見受けられた。	（予定通り着実に運用）	
参考資料	☐ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☒ なし	☒ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☐ なし	☒ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☐ なし	☐ 写真 ☐ 書類 ☐ 録音 ☐ その他 ☐ なし
備考	－			

**様式⑤：浅間山火山防災訓練における
振り返りシート**

【気づき】：訓練運営について

1. 各班の参加人数

- ・各機関の参加人数が2名程度の班が多く、それぞれが最新の付与情報確認や付箋紙記入に手を取られてしまい、班内協議のための十分な時間の確保が困難な印象を受けた。
- ・対応策として、1) 参加人数を（できるだけ）各班3名以上になるように協力依頼をして、訓練中のプレイヤーの作業負担を軽減する、2) 班内協議を濃密にするために検討すべき付与テーマを絞り、そのテーマに特化した協議時間を十分に確保する、等の対応が良いと感じた。この場合は、各機関のおかれた状況に応じて付与テーマを変えるのも良いと感じた。

2. プレイヤーの事前の理解度の向上

- ・班によって付与情報の内容や、付与情報に対応した防災行動についての理解度にばらつき（※）が見受けられた。
- ・対応案として、事前に勉強会において、付与情報の「ねらい」について時間をかけて解説し、各プレイヤーが自身の所属する機関での対応について、関連計画の記載場所を見つけ出して行動内容を理解する等、認識の共有を念入りに実施すると良いと感じた。その段階にまで理解度を上げないと、実際の防災行動に際しての課題をイメージしにくいのではないかと感じた。今回の訓練では、各班を巡回するアドバイザーが多く（協議会2名、内閣府1名、火山機構3名、建設技研3名）、検討が滞る班はなかったが、今後、協議会独自で運営していく際には、プレイヤーの事前の理解度を上げておかないと、検討が滞り付与情報についていけなくなったり、課題をイメージする段階まで至れない班が生じることが懸念された。

※ばらつき：例えば、レベル4に引き上げる前の「耳打ち情報」の段階で、既にレベル4が発表されたと理解した班が2班みられた。また、広域避難計画を確認せずにどの道路が規制対象になるか考えたり、付与情報にある【検討事項例】に気づかずに迷っていた班もみられた。

【気づき】：訓練運営について（続き）

6. 訓練全体を通じたメディア取材（公開）について

- ・訓練全体をメディアに公開する形式で実施したことで、協議会の取り組みを可視化して広報できた。各場面毎の発表会でも発表班に対して他班から、例えば県境をまたいだ広域避難の調整希望等活発な質問やコメントも出ていた。一方で、公開形式であったことから、意見を言いづらいと感じた班があったかもしれないことが懸念された。
- ・対応案として、アンケートの自由記述による意見収集や、振り返り会において訓練当日には言い出せなかったことを含めて、行政担当者だけのクローズ環境の場で意見効果ができると良いと感じた。

【気づき】：訓練関連ツール

7. 付箋紙に記入するペンの統一

- ・黒字の太いペンが（各班に1本ずつ）配布されていたが、2人体制で付箋紙に自分のボールペンで記入する人が多くみられた。ボールペンで記入した付箋紙は少し離れると視認しにくい様子だった。各班を周回するアドバイザーによる検討内容チェック時や各班発表時の前方で掲示した際に線が細くて文字が読みにくい印象であった。
- ・対応案として、太いペンを各班の人数分以上の本数を配布すること、ボールペンは用いずに必ず太いペンで記入することをルール付けするとよい。

【気づき】：訓練シナリオについて

3. 訓練シナリオ表と付与票の対応

- ・訓練シナリオでは、訓練当日の「実際の時刻（実時刻）」と「訓練上の仮想時刻（仮想時刻）」を併記して、仮想時刻での状況付与を行っていた。しかし、付与票には実時刻のみ記載されており仮想時刻は未記載であった。
- ・対応案として、付与票に実時刻と仮想時刻を明示できるように改良する必要がある。（訓練シナリオ表のエクセルに仮想時刻の列を後から追加したため、同表から引用する側の付与票シートに該当列が反映されていなかったことが原因とみられる。）

4. 訓練シナリオの仮想時刻

- ・レベル5引き上げを、レベル4発表の2日後という設定として、訓練上の設定時刻（仮想時刻）を訓練当日の実際の時刻とは分けていた（例えば、付与No.14のレベル5発表は実際の時刻が14：50で、訓練上の仮想時刻は2日後の9：15）。しかし、プレイヤーの立場では、この2つの時間の併記は感覚的に分かりにくく、混乱しやすいと感じた。
- ・対応案として、2日後の仮想時刻を、実時刻と同じ設定にすれば感覚的な混乱は生じにくいと考えられる（例えば、2日後の仮想時刻を9：15とせずに「2日後の14：50」とする）。また、訓練シナリオの進行上、一気に数時間を経過させたい場合であっても、少なくとも「分」表示は実時刻に合わせると感覚的な混乱は生じにくくなると考えられる。

5. オンライン参加機関とのコミュニケーション

- ・オンライン参加機関の存在感が感じられなかった。
- ・対応案として、スクリーンを2面用意して、1面をオンライン参加機関の様子、1面を付与情報の表示として使い分けると良いと感じた。また、オンライン参加機関と対面会場とのコミュニケーションの時間を取れると良いと感じた。